

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業の取り組みは良好である。しかし、授業で学習した内容を身に付けていくことが難しい生徒が多い。学んだことを実際のパフォーマンスや、テストとリンクさせる方法を検討し、提示し、繰り返せるようサポートし、身に付けさせる工夫が必要である。
- (2) 宿題の取り組みに関しては、概ね良好である。ノートを取り方などに工夫がみられる生徒が増えた。課題は、学んだ内容をいかにして身に付け、必要な場面で発揮するかということである。
- (3) 定期考査では、単語、文法や語順等の問題への苦手意識が強い。初見の長文読解の問題の正答率は悪くない。文法のルールを身に付け、更なる応用につなげていきたい。

2 改善の計画

- (1) 生徒が自ら学習に向き合う効果的な自主学習時間を増やしていけるよう、課題やテストなどを工夫する。
- (2) 授業の中で生徒自身が活動する時間を増やし、分からないところは生徒同士や先生に聞けるようにする。また、声かけ等を継続して行っていく。
- (3) 2学期期末テスト以降の授業では、発表などここまでできなかった、英語を使った活動の時間を多くとり、多面的な英語力を伸ばしていくよう働きかける。

3 非認知能力を高めるための手だて

数字で行う評価のみでなく、生徒の取り組みに対してフィードバックを行う機会を増やす。生徒自身が「成長している」と感じられる機会を増やす。

4 プランの評価方法

- (1) 学期末の授業アンケートを実施し、生徒の変容を見る。
- (2) 定期テストの結果などから達成度を評価し、次の授業計画に反映させる。